

長居公園を表現した針中野駅のデザインが 世界三大デザイン賞「iF DESIGN AWARD 2024」を受賞



＜針中野駅ホームのデザイン＞

ヤンマーホールディングス株式会社(本社:大阪府大阪市、社長:山岡健人、以下「ヤンマーHD」)と近畿日本鉄道株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:原 恭、以下「近鉄」)が 2022 年に共同でデザインした近鉄南大阪線針中野駅のデザインが、ドイツで 1953 年から続く世界で最も権威あるデザイン賞の一つである「iF DESIGN AWARD 2024(主催:iF International Forum Design GmbH)」に選ばれました。

今回の対象である「針中野駅」は、ヤンマーグループのわくわくパーククリエイティブ株式会社が指定管理業務を受託する大阪・長居公園の最寄り駅のひとつです。公園の玄関口として認知を高め、駅を中心に魅力ある街づくりを目指すことを目的に、2022 年 7 月に駅の改修が行われました。ヤンマーでは長居公園の魅力を伝えるため、公園ロゴやサインなどのデザイン全般を行っており、駅舎の改修に合わせて近鉄と共同で近隣地域の活性化、ワクワク感の醸成に取り組むことになりました。

本取り組みでは、駅に到着した時から長居公園のワクワク感を演出するため、ヤンマーHD が植物や虫・鳥などの生き物をモチーフに公園と統一したデザインで世界観を表現しました。また、柱を木々に見立てるなど、駅構内の設備を大きく入れ替えることなく、既存の構造物にデザインを施すのみで大きく印象を変えたアイデアが特に高く評価されました。

「iF DESIGN AWARD 2024」受賞ページ

<https://ifdesign.com/en/winner-ranking/project/harinakano-station/635392>

長居公園ホームページ

<https://nagaipark.com/>



＜左：構造物を木に見立てたデザイン、右：長居公園をイメージした針中野駅改札口のデザイン＞

■iF DESIGN AWARD について

iF デザインアワードは、1953 年から国際的に権威のあるデザインアワードのひとつとして、また iF ロゴは優れたデザインの証として広く認知されています。この賞は、製品、パッケージング、コミュニケーション、サービスデザイン、アーキテクチャ、インテリア/建築、プロフェッショナルコンセプト、ユーザーエクスペリエンス (UX)、ユーザーインターフェイス (UI) の 9 つの分野で構成されています。受賞歴のあるすべてのデザインは、www.ifdesign.com および iF Design App で公開されています。

＜ヤンマーについて＞

1912 年に大阪で創業したヤンマーは、1933 年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開。環境負荷フリー・GHG フリーの企業を目指し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。未来を育むヤンマーの価値観「HANASAKA」を基盤に、ブランドステートメントとして掲げる“A SUSTAINABLE FUTURE”を実現します。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

＜近鉄について＞

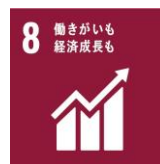
近鉄では、「地域やそこでクラス人々との共生」をテーマに、「“も”とずっと、親しまれ、愛され”、住まいとして選ばれる沿線でありたい」という思いから沿線それぞれの地域が持つ多様な魅力を発掘し、それを地域の方と一緒に幅広く届ける取組を2021年9月から「住むまち近鉄 Story」として実施しています。



＜住むまち近鉄 Story ホームページ＞

【SDGs への貢献】

沿線の文化・観光振興（8. 働きがいも経済成長も）
駅を拠点とした地域の活性化、魅力発信（11. 住み続けられるまちづくりを）
外部との連携（17. パートナリシップで目標を達成しよう）



（以上）

＜注記＞

記載内容はリリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。